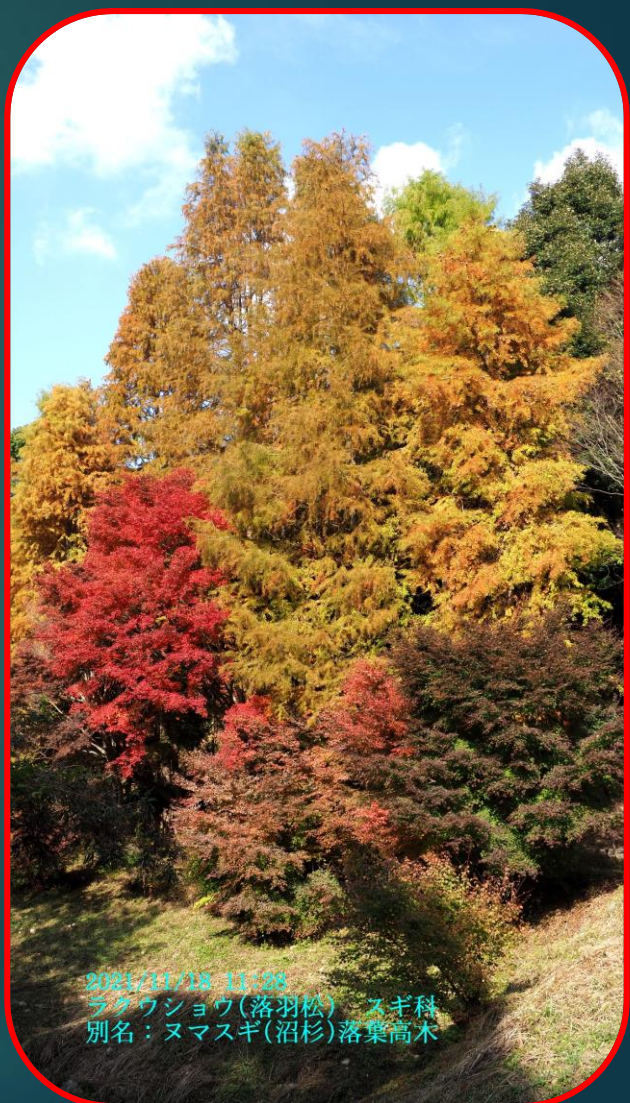
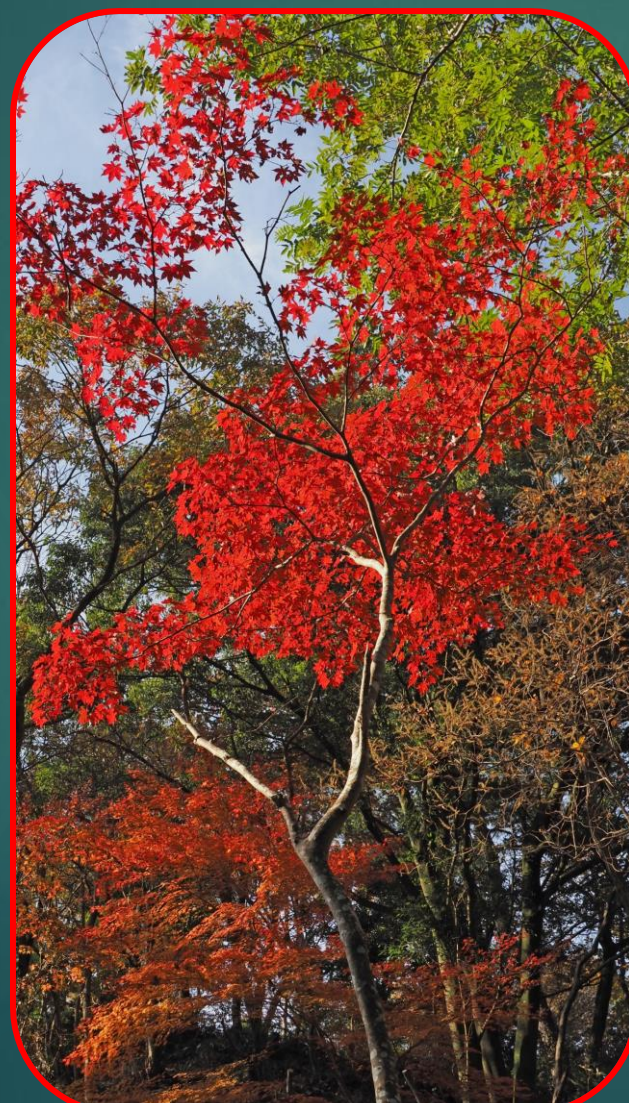


2021.11.16-1

福岡37会、福岡県宇美町

四王寺県民の森の紅葉、キッコウハグマ、ラクウショウ





2021/11/18 9:03  
四王寺県民の森センター駐車場

# 県民の森案内図



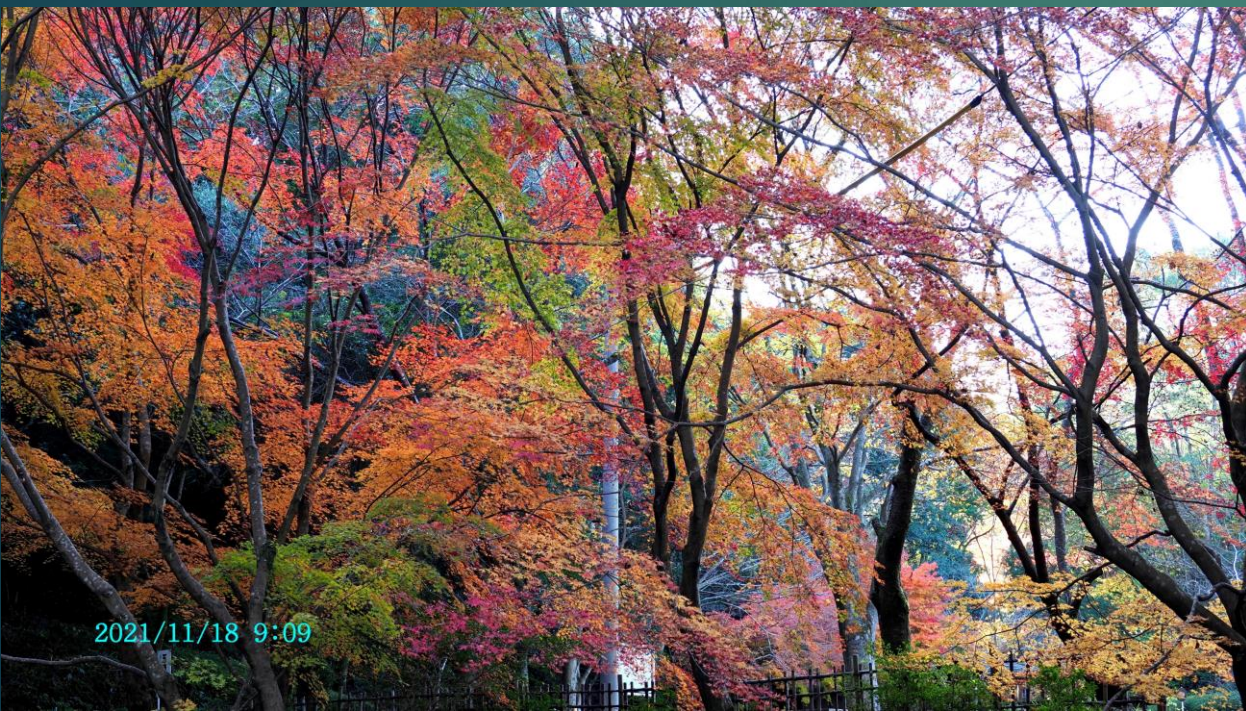
↑ こどもの国へ



クロガネモチ(黒鉄槲) モチノキ科



オオユウガギク(大袖香菊) キク科



2021/11/18 9:09





キッコウハグマ  
(亀甲白熊)  
キク科



キッコウハグマ(亀甲白熊)  
キク科

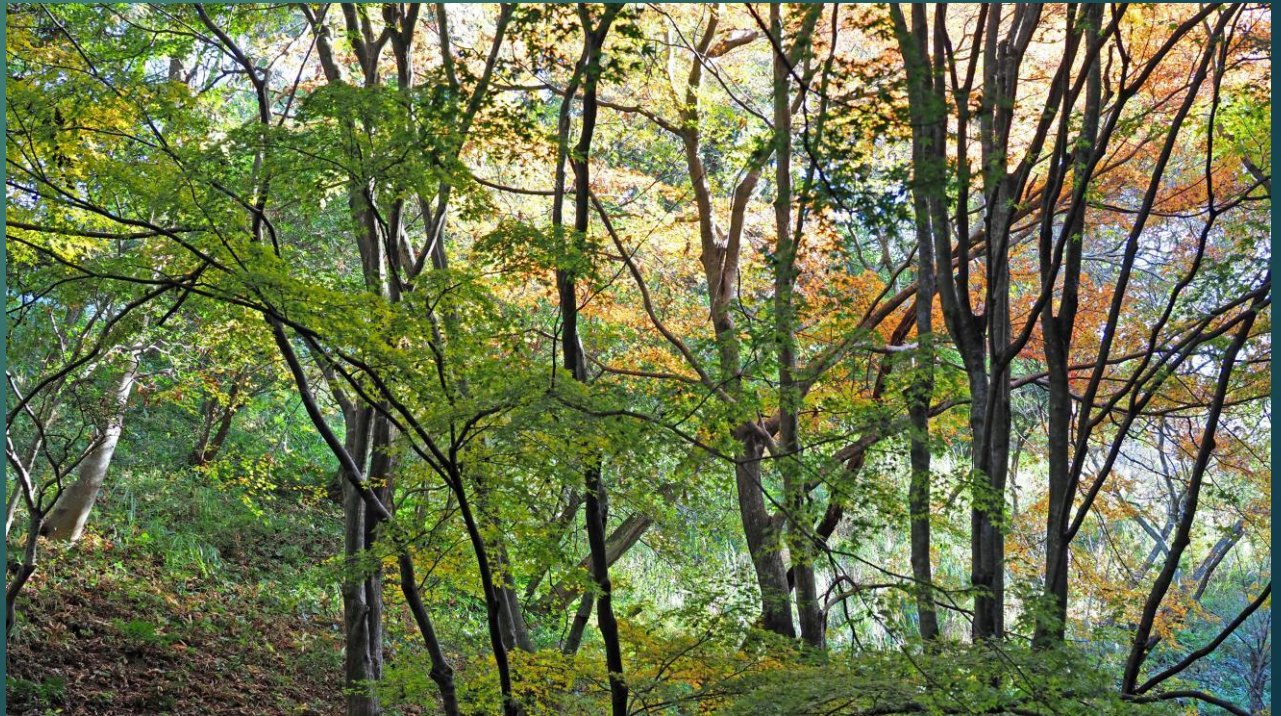


キッコウハグマ(亀甲白熊)  
キク科





ハダカホウズキ(裸酸漿)  
ナス科







ヌマダイコン(沼大根)  
キク科



ヤブコウジ(藪柑子)  
ヤブコウジ科 落葉小低木  
別名：十両



フユイチゴ(冬苺)  
バラ科



2021/11/18  
9:42



シイタケ



2021/11/18 9:48  
四王寺県民の森









サザンカ(山茶花) ツバキ科



ヤブラン(藪蘭)  
キジカクシ科





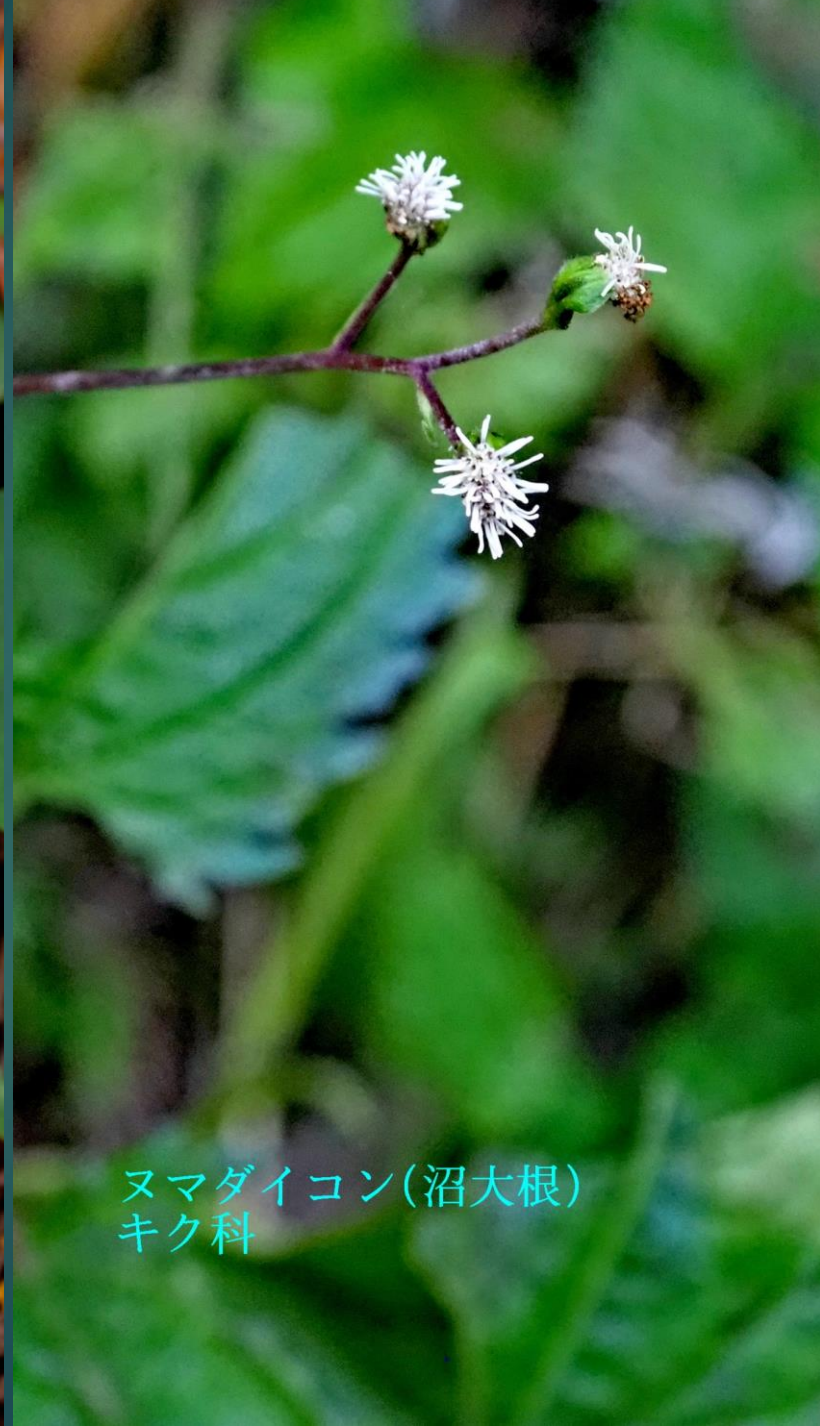




フユノハナワラビ(冬の花蕨)  
ハナヤスリ科  
別名：フユワラビ(冬蕨)



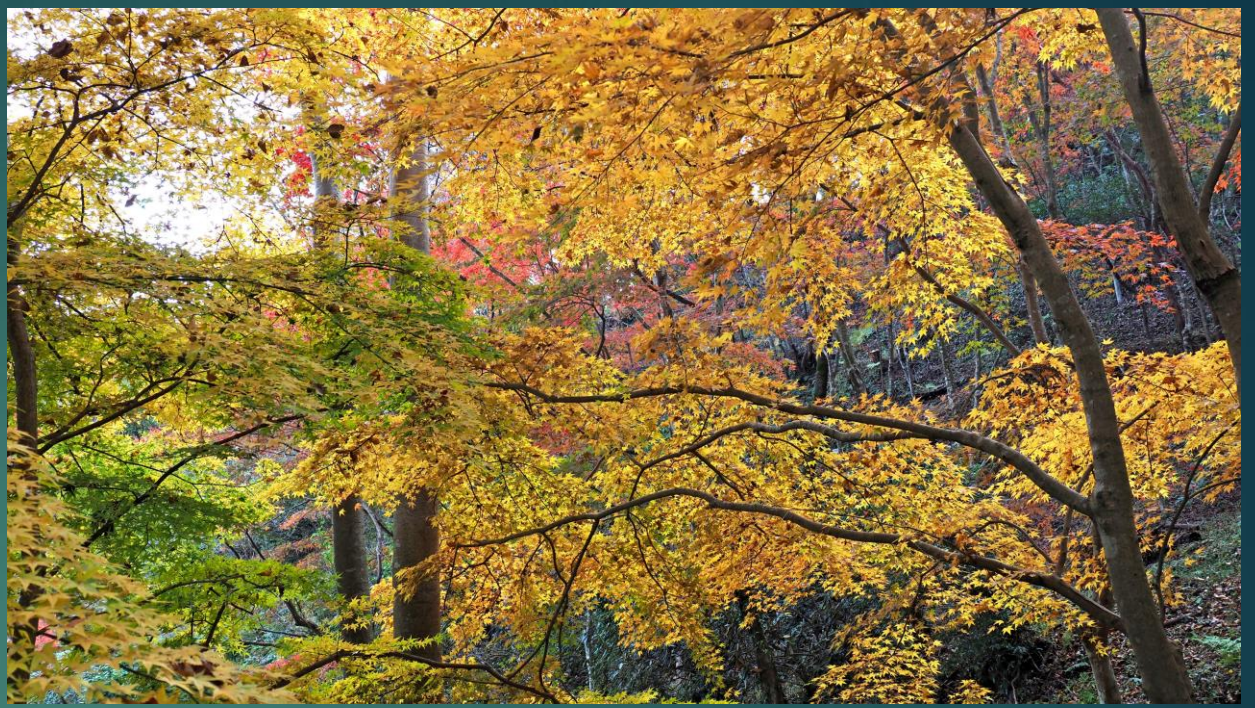
ツワブキ(艶蔞)  
キク科



ヌマダイコン(沼大根)  
キク科

ヌマダイコン  
(沼大根)  
キク科







2021/11/18 10:40  
県民の森センター



2021/11/18 10:48



2021/11/18 10:43



サザンカ(山茶花) ツバキ科



2021/11/18, 10:55  
百間石垣



特別史跡 おおのじょうあと  
**大野城跡**

所在地 宇美町, 太宰府市, 大野城  
指定日 昭和28年3月31日

**大野城**

大野城は白村江の戦(663)の後、唐・新羅からの侵襲に備えて西日本各地に築かれた山城の一つで、北西の水城、南方の基肆城とともに大宰府政府を中心とした防衛ラインを形成していました。この山城は百濟の亡命高僧2名による戦略的・技術的指導のもと築城されたことが『日本書紀』に記されることから、一般に朝鮮式山城と呼ばれています。大野城は政府の北に聳える四王寺山中(標高約409m)にあり、北は博多湾から南は筑後方面を眼下に納める絶好の場所に立地し、山頂と山腹に土壁が、谷間には石垣が構築されています。現在、確認されている城内への入口は5ヶ所あり、食料の備蓄や居住に利用されたと考えられる70棟余りの建物が丘陵を造成した平坦面に残されています。



**百間石垣**

百間石垣は大野城の北の要(宇美口)に位置し、石垣の全長は150m以上あり城内最大の規模を誇ります。石垣の大半は頑強な岩盤の上に構築され、裏込めに築石を使用した透水性の高い断面構造をなし、石垣の南側には地下水を排出するための吐水口が設置されるなど、水に配慮した当時の技術の高さを窺い知ることができます。昭和48年の水害によって百間石垣の前を流れる川が氾濫、土砂崩れも重なり石垣は大きな被害を受けました。復旧工事に併せ発掘調査を行ったところ、石垣の基礎や川の中から城門の礎石と考えられる石材が発見されました。平成13年度からは石垣の保存のために修理が始まりました。この始行された工事で中央の石垣の裏から板敷状の礎石が発見されるなど新たな知見を得ることができました。ところが平成15年7月の集中豪雨によって山林が崩壊、この土砂災害によって百間石垣は甚大な被害を受けました。工事は一時中断しましたが、復旧に取り組んだ結果、現在のような姿になりました。



石垣の崩壊の状況と復旧工事の様子  
平成18年3月 福岡県教育委員会

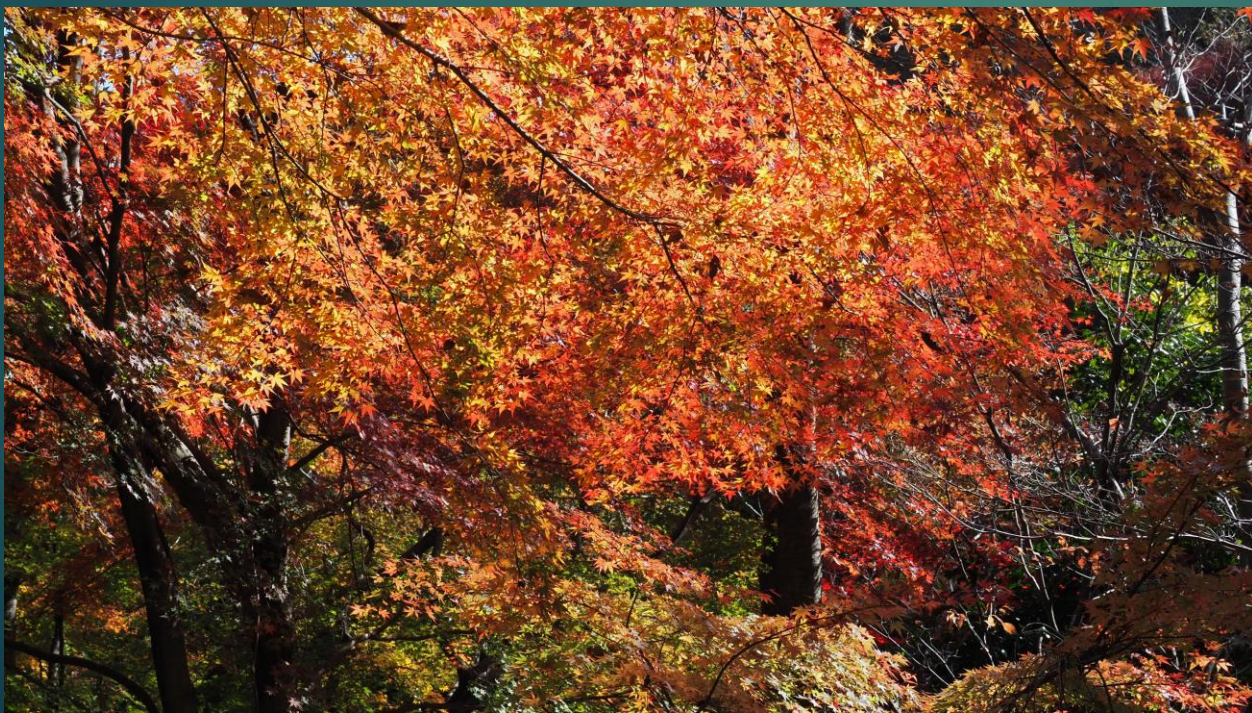
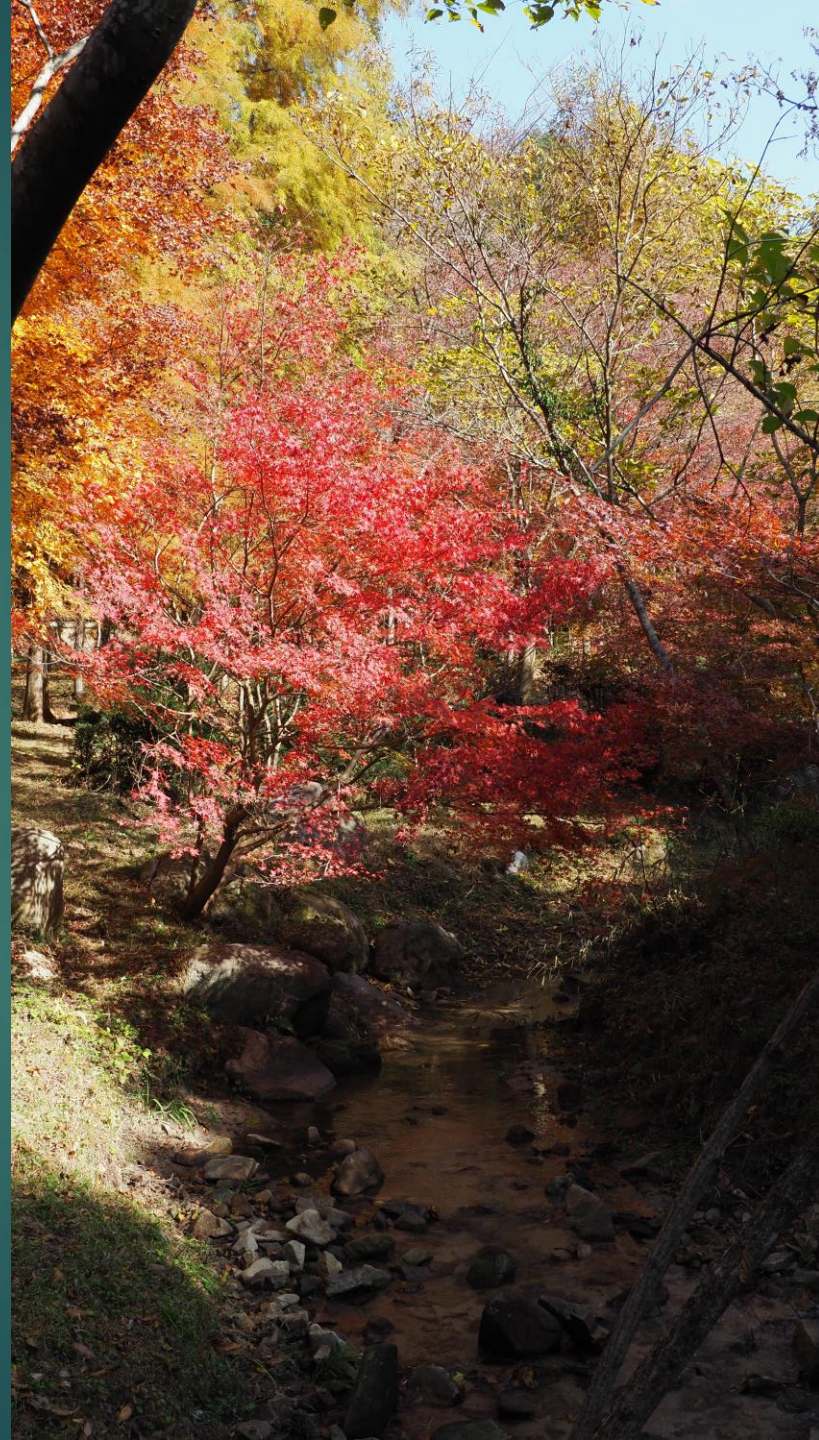
2021/11/18 10:59  
百間石垣



2021/11/18 11:04



2021/11/18 11:10  
結返りの滝



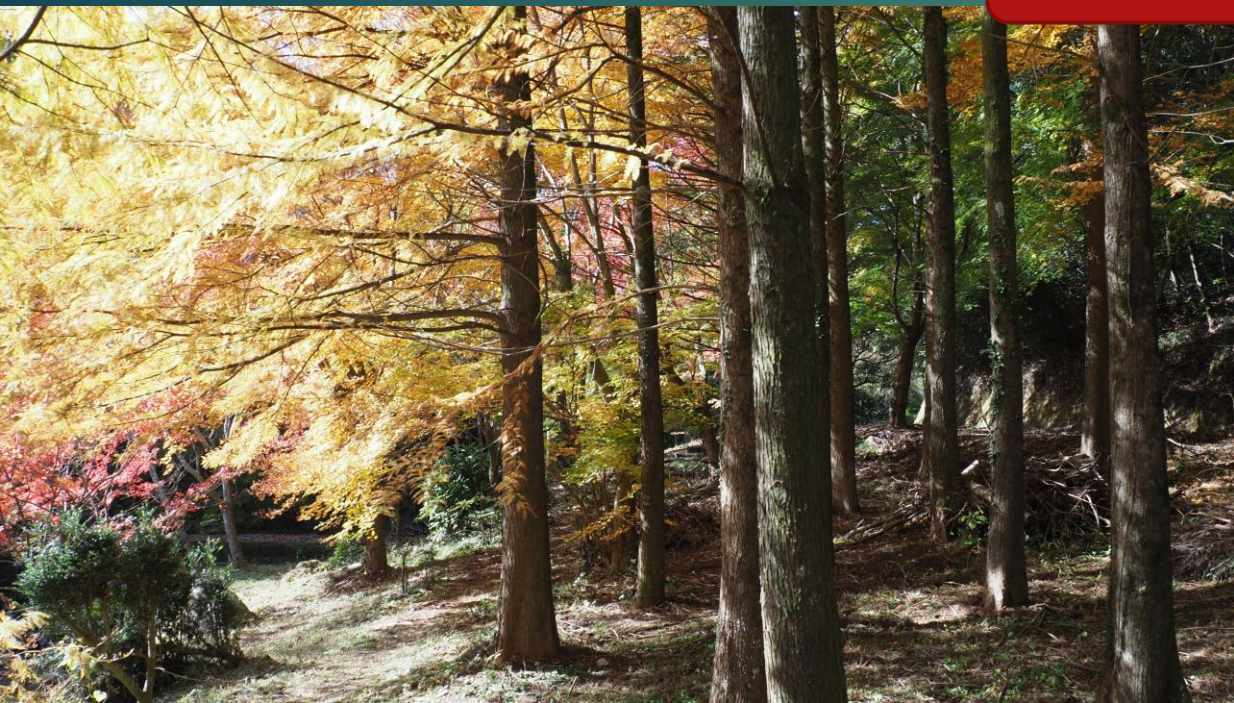








ラクウショウ





2021/11/18 11:28  
ラクウショウ(落羽松) スギ科  
別名:ヌマスギ(沼杉)落葉高木



ノブドウ(野葡萄)  
ブドウ科











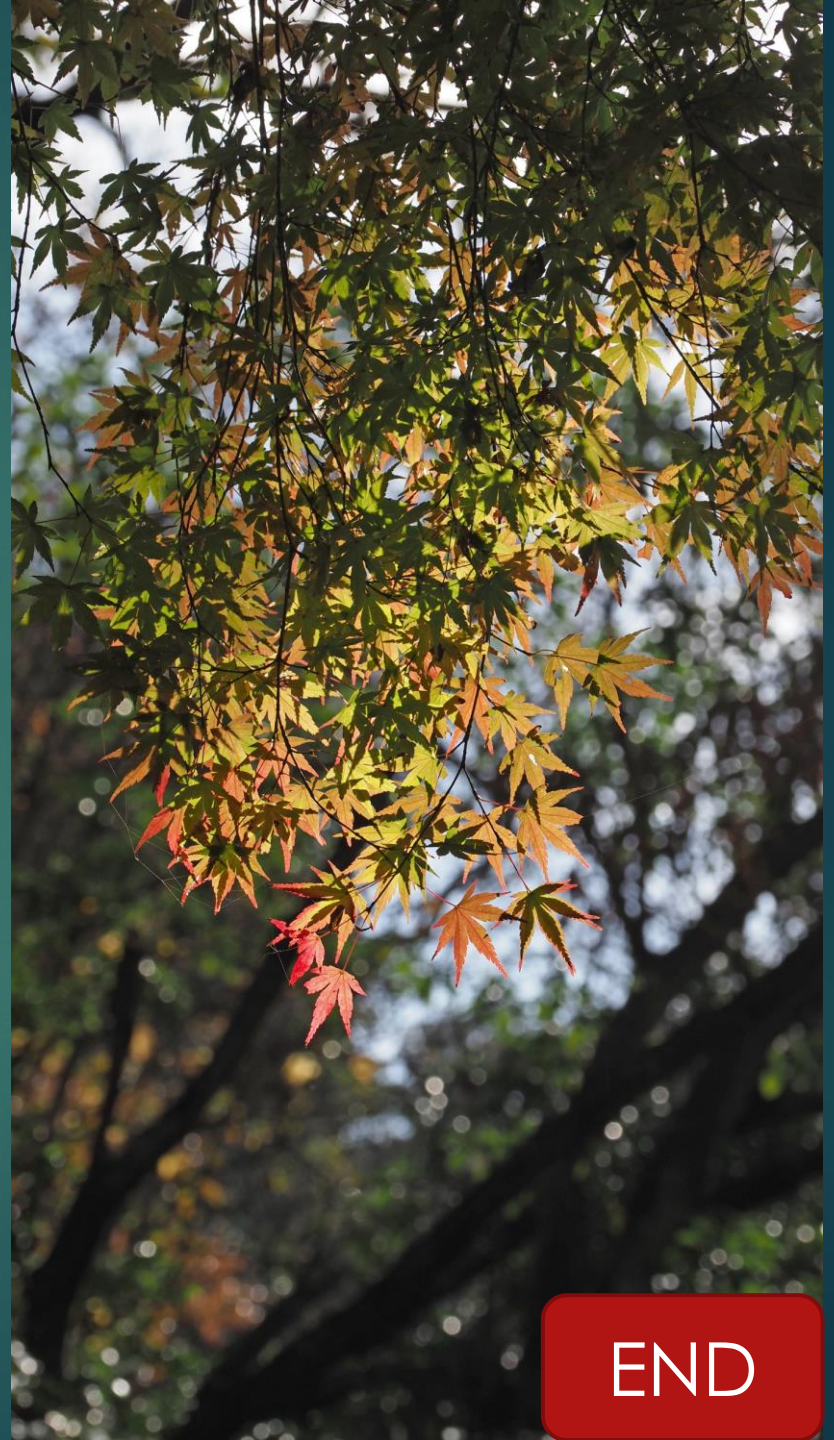




ラクウショウの実



ヨシアブラ(澆油)ウコギ科 落葉高木



END